

2023 年度 事業計画

1. 事業の概要について

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野で社会貢献活動をされ、顕著な功績をあげた京都と関わりのある（京都在住、活動の拠点や原点が京都にある等）個人や団体・グループを顕彰する。
- ・2023 年度の京都ヒューマン賞の贈呈式および懇親パーティーは、2023 年 6 月 6 日（火）11:00～13:00 リーガロイヤルホテル京都にて開催する。なお、懇親パーティーについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、実施するかを改めて判断する。

(2) 助成事業

- ・当法人の事業目的に合致し、地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野において、原則として京都府内で社会貢献活動を行う個人や団体・グループに対して、イベント開催時の経費の一部助成を行う。
- ・子ども食堂を開設・実施している団体に対して、年間利用人数に応じて助成上限金額を設定し、その範囲内で年間運営費用の一部助成を行う。なお、子ども食堂助成制度の助成上限金額は、2022 年度比で 10%増額する。
- ・準要保護教育援助受給世帯および生活保護家庭等に向けて食材を提供するフードバンク団体に対して、活動費の一部を助成する。
- ・助成は、複数の外部有識者による助成適正評価、専務理事の同意意見、理事長の決裁により実施する。

(3) 広報・宣伝活動

- ・当法人の事業内容について、ホームページ上での告知、マスコミ発表、Facebook や京都府のメーリングリストによる告知を継続するとともに、子ども食堂助成制度については独自のパンフレットを作成し、関係先に配布する。

2. 法人運営費用について

(1) 収支計画について

（収入）

- ・基本財産の債券利金収入は、前年度予算および実績(見込み)と同額の 203 万円を見込む。
- ・オムロン株式会社株式 20 万株の配当金として、6 月末および 12 月初めにそれぞれ 980 万円ずつ、年間合計 1,960 万円の収入を見込む。
- ・この結果、経常収益の見込みは、前年度予算比 700 万円増、前年度(見込み)比 640 万円増の 2,743 万円を見込む。

(支出)

- ・顕彰事業費（顕彰金、式典費用等）は、前年度予算比 70 万円減、前年度見込み比 40 万円減の 400 万円とする。
- ・助成事業の合計は、前年度予算比 285 万円増、前年度見込み比 197 万円増の 1,545 万円とする。一般イベント助成は前年度予算比 40 万円増、前年度見込み比 73 万円増の 300 万円とする。フードバンク助成は、前年度予算比 5 万円減、前年度見込み比同額の 395 万円とする。子ども食堂への助成金は、食料品や光熱費の値上げが相次ぎ、子ども食堂の運営が厳しさを増している状況を踏まえて、助成上限金額を前年度比で 10%増額する。このため、子ども食堂助成金は、前年度予算比 250 万円増、前年度見込み比 123 万円増の 850 万円とする。
- ・公益目的事業の管理費は、前年度予算比 54 万円増、前年度見込み比で 20 万円増の 360 万円とする。
- ・この結果、公益目的事業費の合計は 2,305 万円となり、前年度予算比 269 万円増、前年度見込み比 178 万円増となる。
- ・法人会計の管理費は、評議員および役員に対して報酬を支払うことにより 99 万円が増加。管理費合計では 396 万円となり、前年度予算比 154 万円増、前年度見込み比 95 万円増となる。
- ・経常費用の合計は 2,702 万円となり、前年度予算比 423 万円増、前年度見込み比で 273 万円増となる。
- ・公益目的事業会計の収支相償については 4 万円の赤字、法人全体としては 41 万円の黒字の計画とする。一般正味財産の期末残高は、前年度末比 41 万円増の 1,559 万円となる。

(2) 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。